

参考 事例調査資料

財団法人 北海道文化財団

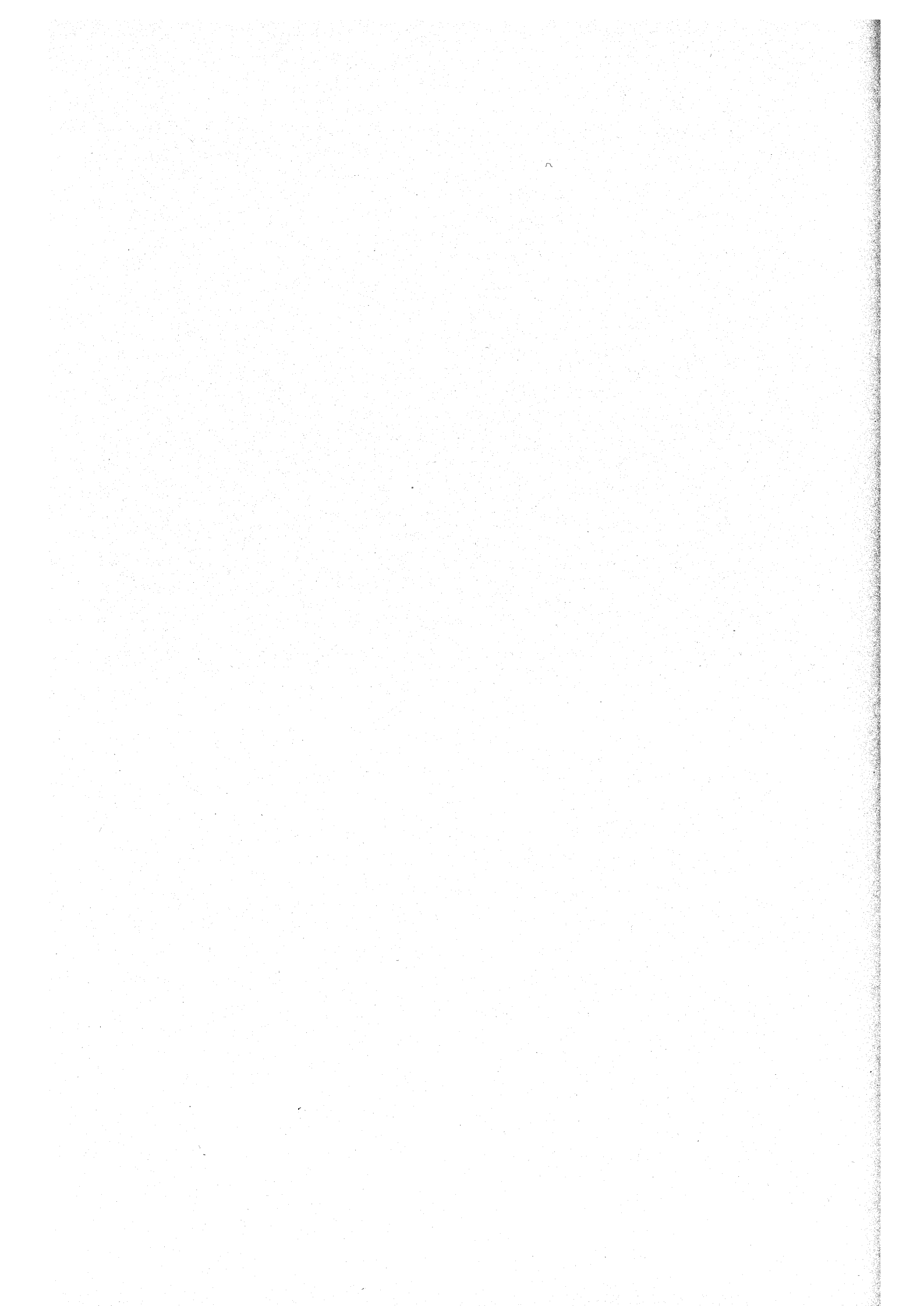
盛岡市民文化ホール（財団法人盛岡市文化振興事業団）

富山県教育文化会館（財団法人富山県文化振興財団）

広島市文化創造・中区民文化センター（財団法人広島市文化財団）

喜多方プラザ文化センター（喜多方地方広域市町村圏組合）

會津風雅堂（財団法人会津若松文化振興財団）



財団法人 北海道文化財団

北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル6F (tel) 011-272-0501 (fax) 011-272-0400
 各種の文化事業を行う財団で、現段階では、直接、ホール施設の運営は行っていない。

立地地域人口 北海道：5,692,321人

舞台技術に関する取り組み

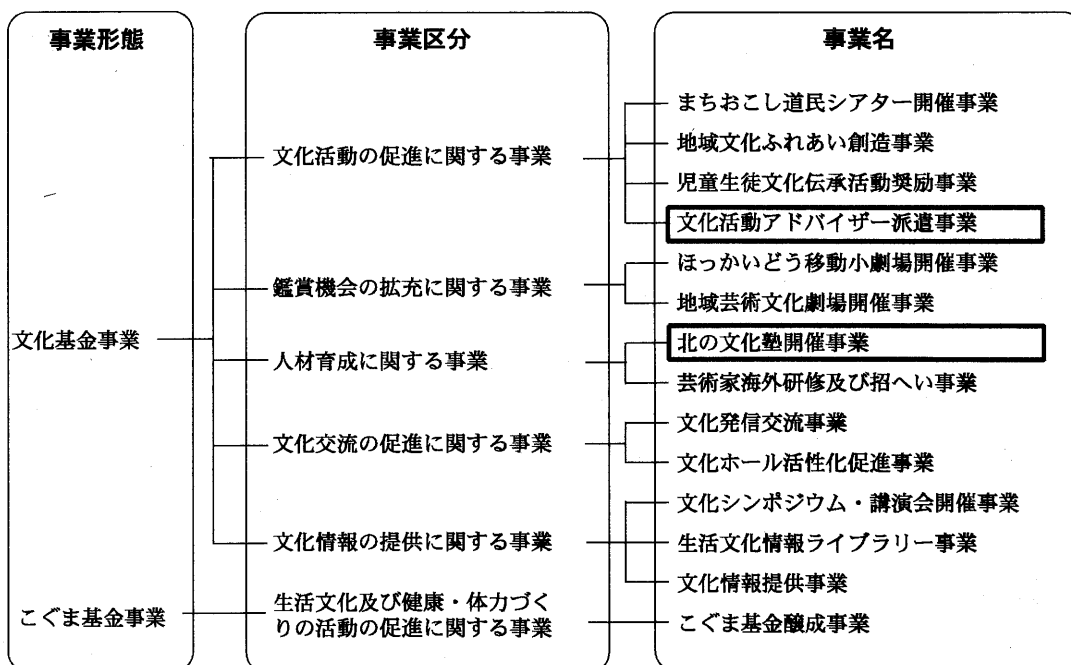
文化活動アドバイザー派遣事業

地域において文化活動に取り組んでいる団体等からの要請に応じて、文化活動アドバイザーを派遣し、助言、情報提供などによって道民の文化活動を支援する。「文化企画」の文化活動アドバイザー派遣に加え、98年度からは「舞台技術」アドバイザーの派遣も行うようになった。

北の文化塾開催事業

舞台技術講座（98年度は3日間/64人参加）：公立文化ホール等の舞台技術職員等で、経験年数4年程度までの者を対象に、舞台・照明・音響の各コースに分かれ、講座と模擬公演の実技等を実施。

事業実施体系



盛岡市民文化ホール（財団法人盛岡市文化振興事業団）

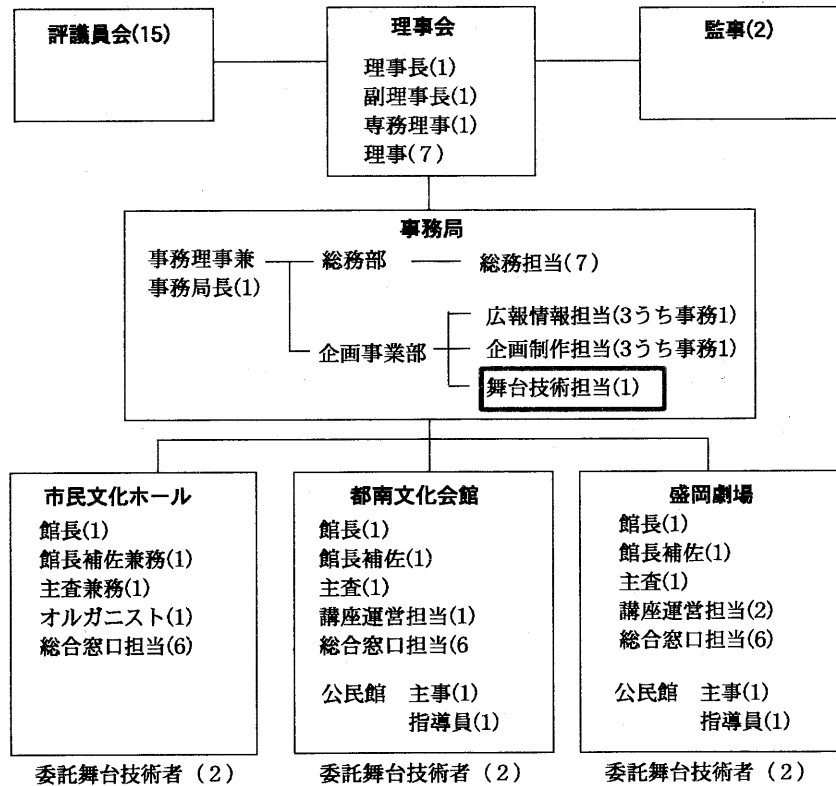
盛岡市盛岡駅西通 2 - 9 - 1 (tel) 019-621-5100 (fax) 019-621-5101

財団法人盛岡市文化振興事業団の運営している主な施設の概要

盛岡市民文化ホール	ホール施設	シアター(1516席)と小ホール(356席)の2つ
都南文化会館	ホール施設	シアター(1,056席)
盛岡劇場	ホール施設	シアター(516席)と平戸間(約100席)の2つ

立地地域人口 岩手県盛岡市：287,700人

組織体制



技術部門の状況

各館直営方式であったが、財団組織になり、本部の舞台技術担当が盛岡市民文化ホールの舞台技術部門を担当するとともに、他の2カ所のホールについても舞台技術面での総括を行っている。この2ホールにおける利用者のニーズなど現場レベルでの情報を、それぞれのホールの運営に反映させることや、それぞれのホールの現場での技術的判断への対応など、常駐していないホールについての配慮が課題。

富山県教育文化会館（財団法人富山県文化振興財団）

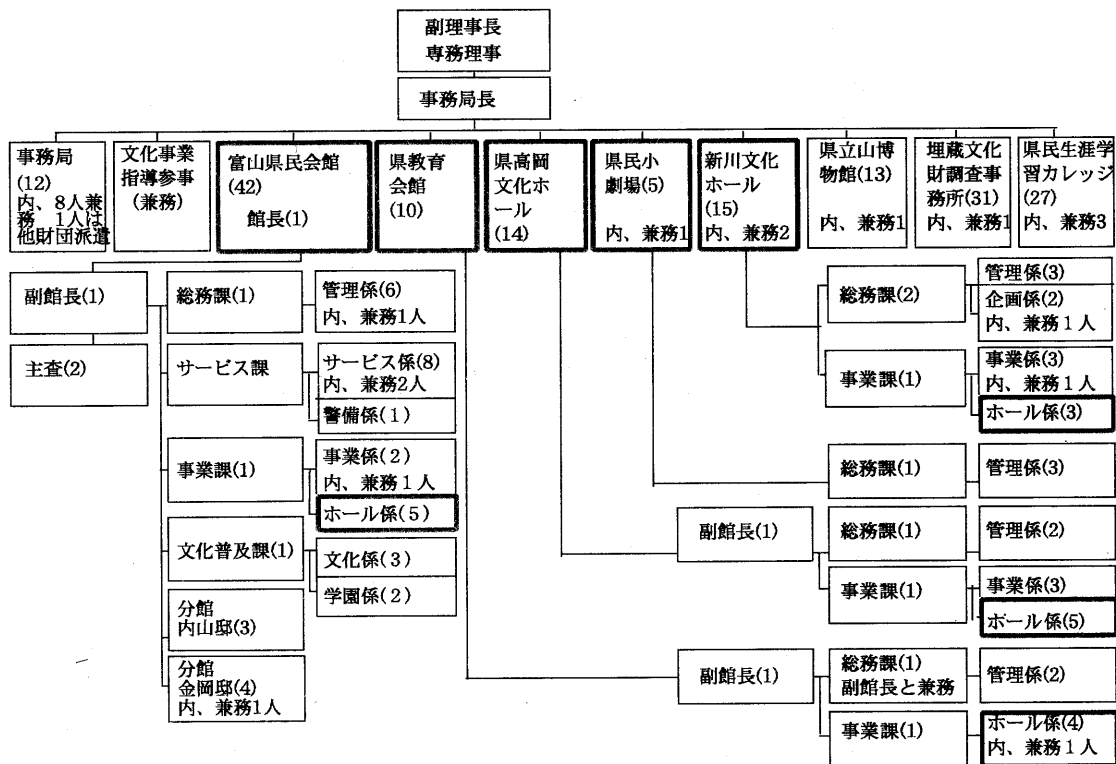
富山県富山市舟橋北町7-1 (tel) 0764-41-8635 (fax) 0764-41-8184

運営している主な施設の概要

富山県民会館 ホール施設 シアター(1217席)
 教育文化会館 ホール施設 シアター(700席)
 他

立地地域人口 富山県：1,123,125人

組織体制



技術部門の状況

舞台技術職員は、財団職員であり、専門職員である。性格の違った複数のホールを異動することで、幅広い専門性を身につける上で効果がある。

事業として、一般市民に対する舞台技術の講座を、舞台技術職員がテキストを制作し、講師となって開設している。

この講座の参加者によって「ホール・サポーター」という制度が作られており、各施設でのアマチュアの公演の手伝い等を行っているが、現在は3期目であり、制度的にもボランティア参加者の技術レベルの点でも、今後に期待する段階といえる。

ただし、舞台芸術以外の施設との異動には、専門性に留意する必要があるだろう。

広島市文化創造・中区民文化センター（財団法人広島市文化財団）

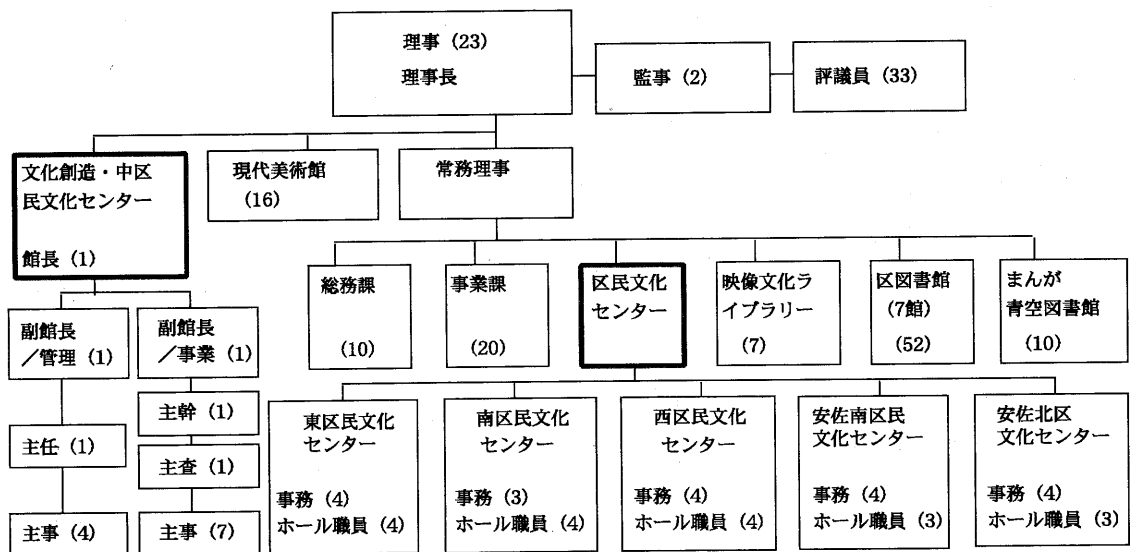
広島県広島市中区加古町4-17 (tel) 082-244-8000 (fax) 082-246-5808

財団法人広島市文化財団が運営している主な施設の概要

広島市文化創造・中区民文化センター	ホール施設	シアター(1204席と547席) 2つ
東区民文化センター	ホール施設	シアター(544席)
南区民文化センター	ホール施設	シアター(551席と149席) 2つ
他		

立地地域人口 広島県広島市：1,108,888人

組織体制



舞台技術部門の状況

ホールの舞台技術担当職員は財団のプロパー職員であり、各ホールの間を異動する。

舞台技術に関して職員は、「管理」「立会い」「メンテナンス」業務を行い、デザインやオペレーションなどは行わない。

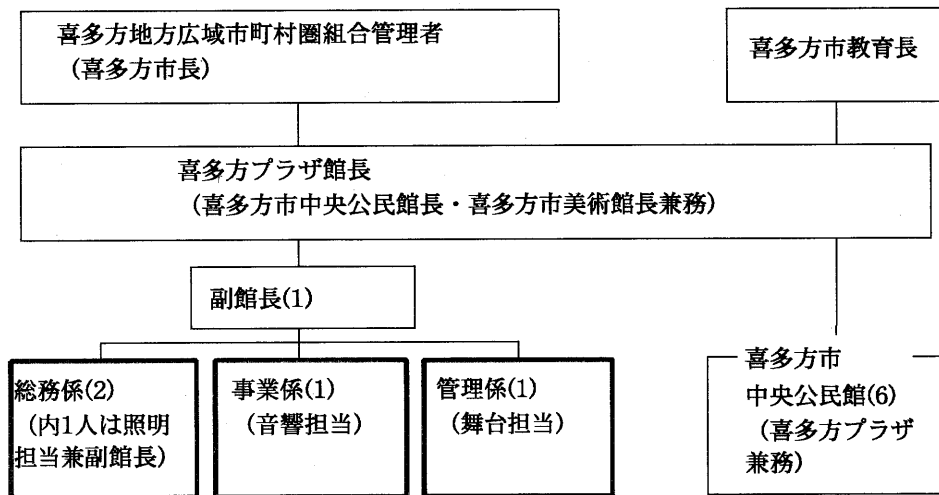
喜多方プラザ文化センター（喜多方地方広域市町村圏組合）

福島県喜多方市字押切川向5364-1 (tel) 0241-24-4611 (fax) 0241-24-4611

施設の概要 ホール施設 シアター(1176席)と小ホール(約400席)の2つ

立地地域人 福島県喜多方市：37,532人

組織体制



舞台技術部門の状況

組織図における4人の職員のうち、3人は舞台技術の専門職員であり、職員のみで対応することができない作業をボランティア・スタッフが行っている。

原則として、職員は管理業務以外を行わず、制作・上演に関わる業務は別途に専門家に依頼しない場合、ボランティア・スタッフが行うが、職員はその指導や安全管理も行う。

ボランティアグループは「裏方の会」といい、15年前のオープン時に導入されたもので、我が国における先駆けのひとつといえよう。デザインや仕込みの進行管理も行うが（有償）、プロの舞台には参加しない。

課題としては、ボランティアへの新規の参加者が少なく、主要メンバーが参加しにくい年齢層になってきたことや、ボランティアを依頼する側に、同じ住民の活動であるという意識が希薄になってきていることがある。

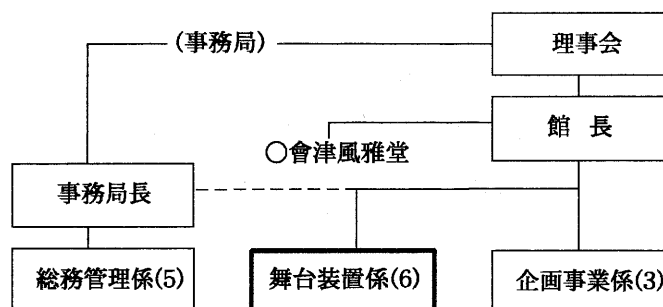
會津風雅堂（財団法人會津若松文化振興財団）

福島県会津若松市城東町12-1 (tel) 0242-27-0900 (fax) 0242-29-8321

施設の概要 ホール施設 シアター(1752席)

立地地域人口 福島県会津若松市：119,640人

組織体制



舞台技術部門の状況

技術職員が6人であり同規模の施設では少ない人数ではないが、近隣に舞台技術会社がなく、職員だけの対応には限度がある。

ホールボランティアを導入しているが、発展過程にある。

住民によってホール運営を支えるという意義が大きく、また、ボランティアのスタッフをうまく活用している住民の団体もあり、取り組んでいる。